



(伊藤隊員)
大木町を大きな町に！

**大木町に超大型カブトムシ養殖場が誕生！
年間20万匹のカブトムシが生まれる!?**

主役は国産カブトムシ!!



さなぎを発見しました！

新しい巨大工場が稼働を開始！
国産カブトムシを年間20万匹養殖できる養殖場を新しく稼働開始しました！
この養殖場でも既存の工場に引き続き、町内で発生するきのこの廃菌床を活用し、カブトムシの幼虫を育てていきます。これにより、年間で新たに約300トンもの廃菌床処理を実現できる見込みです。
これまで廃棄されていた資源を、カブトムシの力で新たな価値へと変えていく。大木町ならではの資源循環の取り組みが、また一歩前進しました。
今後、カブトムシの養殖を通じて、廃菌床の有効活用だけでなく、子どもたちへの環境教育や、町外へ向けた大木町のPRにも繋げていきたいと考えています。



自然好きの子どもたちが大集合！

響灘ビオトープで大木町PRイベントを開催！
5月9日・10日の2日間、北九州市響灘ビオトープにて、平松隊員が担当して大木町PRイベントを開催しました！
響灘ビオトープは、自然や生きものについて学ぶ環境学習の場です。その中で、カブトムシを通じて大木町の資源循環を伝えられたことは、よい機会となりました。
当日は2日間で約100名にご来場いただき、子どもたちがカブトムシを見たり触れたりして楽しむ姿が見られました。きのこの廃菌床を活用したカブトムシ養殖や、循環型の取り組みに関心を持っていただきました。



(小田隊員)
馬糞でもカブトムシは育つんです！

小倉競馬場でも大木町をPR！
5月31日、北九州市小倉競馬場にて小田隊員が担当し、大木町PRイベントを開催！
当日は約400名の方々にご来場いただき、カブトムシを見たり触れたりしながら楽しむ子どもたちの姿にぎわいました。
国産カブトムシの餌として、競馬場で発生した馬糞と、大木町のきのこの廃菌床を組み合わせたマットを活用。地域の外にある資源と大木町の資源がカブトムシを通じてつながり、新しい循環の形を感じられる機会となりました。
町外の方々に、大木町の資源循環の取り組みや魅力を発信しました。



協力隊Instagramのフォロー
よろしくお願ひ致します🍀

大木町

協力隊Instagramのフォローよろしくお願ひします！
活動の様子や大木町の日常を随時更新中です。ぜひチェックしてみてください！